

わかやま

No.21

和歌山県精神保健福祉センターだより 2004年10月

「精神保健医療福祉の改革ビジョン」について

和歌山県福祉保健部健康局健康対策課長 山本 フミ代

平成16年9月、坂口厚生労働大臣を本部長とする国の精神保健福祉対策本部は、精神保健医療福祉の見直しに係る今後の具体的な方向性を明らかにするため、「精神保健医療福祉の改革ビジョン」を決定しました。なお、この「改革ビジョン」は、平成17年における精神保健福祉法の改正にもつながるものとされています。

その内容は、「入院医療中心から地域生活中心へ」を基本方針とし、概ね10年後における①国民意識の変革、②精神保健医療福祉体系の再編、このふたつの数値目標を設定しています。

①国民意識の変革については、「精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気であることについての認知度を90%以上とする。」を数値目標としています。精神疾患を正しく理解することにより、精神疾患を自分自身の問題として考え、態度を変え行動に移すという変化が起きるよう認知度を高める、ということです。

②精神保健医療福祉体系の再編については、「各都道府県精神科入院患者の平均残存率（1年未満群）を24%以下とする。退院率（1年以上群）を29%以上とする。」を数値目標としています。新規に入院する患者さんには、良質かつ適切な医療を効率的に提供することによりできる限り1年以内に速やかに退院できるようにし、既に1年以上の入院になっている患者さんには、本人の病状や意向に応じて、医療と地域生活支援体制の協働により、段階的、計画的に地域生活への移行を促すことによって、約7万床の病床数の減少が促されることとなります。

これらの目標達成のための施策において、精神障害、身体障害、知的障害それぞれの特性を踏まえつつも、3障害に共通した問題については障害の枠を越えた体制整備を行っていきます。と、示されています。

本県も、財政状況が厳しいところですが、本年度健康対策課の新規事業3つのうち2つは精神保健福祉関係事業です。ひとつめは、「社会的ひきこもり」者社会参加促進事業、ふたつめは、「精神障害者退院促進事業」で、特に「社会的ひきこもり」者社会参加促進事業は「ひきこもり」者に対する家庭訪問から就業支援まで包括的に支援する事業であり全国初の試みです。

今後とも、精神障害者の方々や家族の方々と共に、地域精神保健活動の中核を担う精神保健福祉センターや保健所、こころの医療センター等の関係機関との連携のもと精神疾患に対する正しい理解と地域における受け皿づくりを進めて参りたいと考えています。

最後に、アテネオリンピック競泳女子800メートル自由形で金メダルに輝いた柴田亜衣選手の名言をここに記したいと思います。『あわてず、焦らず、あきらめず。』

もくじ

- P 1 “精神保健医療福祉の改革ビジョン”について
- P 2 ピア下津作業所
- P 3 ぼけ老人をかかえる家族の会 和歌山県支部からの報告
- P 4 精神保健福祉普及啓発事業
- P 5 メンタルヘルスニュース／朝井所長のひとりごと
- P 6 は一とふるネットワーク「白浜町役場 講初 景子さん」
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050300/050301/index.htm>

このコーナーでは県下の社会復帰施設を紹介します。
第9回は、下津町にある「ピア下津作業所」です。
指導員の梅本さんにお話を伺いました。

ピア下津作業所

みなさん初めまして、「ピア下津作業所」です。

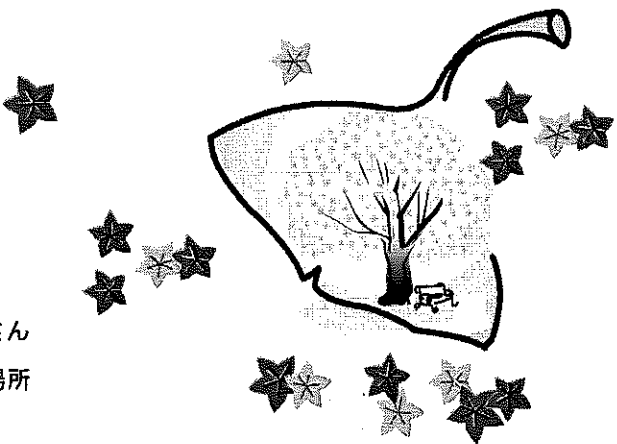
私たちの施設は、去年10月に開所したばかりで、まだみなさんにはなじみが薄いかもかもしれませんが、今、仲間作りや居場所作りを目指して活動しています。

ちなみに、ピア下津のピアとは、仲間という意味です。名前のおり、仲間が中心となって作り上げていく作業所です。立ち上げ当初は男性ばかり5名だった仲間も、今は女性も加わって総勢9名で、わきあいあいと過ごしています。

ここは仲間の希望で、‘居場所’を目的に、作業は午前中だけで終わり、午後はレクレーションをしています。作業は主にアルミ缶つぶしで、周りの方々の協力により集まったアルミ缶を、汗を流しながら足や機械でつぶしてそれを換金し、工賃としています。また、クッキーを作って販売をすることもあります。先日も、障害者プロ集団によるバリアフリートーク&コンサート（福祉コンサート）で、下津町にあるもうひとつの作業所、あかり作業所さんとともに、クッキーの販売とバザーを行いました。自分達で接客することで、たくさんの人たちと関わりを持ち、啓発活動も行うことができました。コンサートの最後に舞台上がって花束の贈呈もしました。現在、未整備だった作業所2階部分も整備して、新しい作業も考え中です。

午後のレクレーションでは、卓球をしたり「ウノ」をしたり、月に一度は外出もしています。先月は岩出の「川辺の湯」に行って、のんびりお風呂につかってきました。

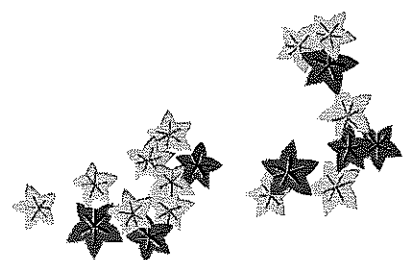
ピア下津作業所は、まだまだ動き出したばかりの作業所なので手探り状態ですが、仲間も職員も、



周りの方々の協力を得ながら活動しています。どうぞ今後も暖かく見守っててください。また、作業所はいつでも見学ができます。通所希望の方は、気軽にご相談ください。

ピア下津作業所

設置主体	下津町家族会『虹の会』
運営主体	ピア下津作業所運営委員会
代表者	運営委員長 脇所 武夫
所在地	〒649-0111 海草郡下津町方300
TEL/FAX	073-492-1311
開所曜日	月曜日～金曜日
開所時間	9:45～15:00
作業時間	10:00～11:30
作業内容	アルミ缶つぶし クッキー作り



このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。
今回は、「(社) 呆け老人をかかえる家族の会 和歌山県支部」です。
世話人代表 林 千恵子さんにお話を伺いました。

呆け老人をかかえる家族の会 和歌山県支部からの報告

「呆け老人をかかえる家族の会」は1980年に京都で結成。
1994年に社団法人化。1992年に国際アルツハイマー病協会に
加盟。全国41の支部が、それぞれ独自の活動を行っています。
和歌山県支部は1981年に発足。介護家族だけではなく医療
や福祉、その他色々な方面で痴呆に関心を持つ人たちが加わり
支部会員数は現在95名です。



街頭活動

和歌山県支部の主な活動

- 和歌山のつどい・田辺のつどい
(相談、交流、情報・意見交換)
- 月刊ぼ〜れば〜れ 和歌山県支部版
- ホームページでの情報提供 ○ リフレッシュ旅行
- 施設見学会 ○ 講演会 ○ 勉強会
- 9月21日世界アルツハイマーデー(啓発)

わかやま痴呆なんでも電話相談

毎週月曜日 0120-969-487 (県内通話料無料)

2003年9月に県の「NPOからのふるさとづくり企画提案
事業」で「わかやま痴呆なんでも電話相談」を開設。県の
委託事業として継続して行っています。

痴呆に関する総合的な窓口での情報提供、そしてピアカ
ウンセリングでの介護者の心のケアという2つの役割が
あります。生活の中で生じるどんなことでも相談できま
す。相談員は全員家族介護経験者です。相談者の思いを
受け入れ、共感し、介護者の心を支えます。この電話相
談事業は、介護家族の貴重な経験を社会資源として役立
たせることのできる場にもなっています。



若年期痴呆と初期痴呆のピアカウンセリング の集い・訪問カウンセリング

若年期痴呆、初期痴呆のピアカウンセリングの集いと
訪問カウンセリングが2004年度の県の「NPOからのふる
さとづくり企画提案事業」に採択され9月より実施してい
ます。電話相談の中での若年期痴呆、初期痴呆の人の家
族からの訴えをもとに企画しました。同じ立場の者がそ
れぞれの思いを話し合うことで前向きな力を得ることが
できます。この事業では手作りの昼食や、痴呆の人への
支援で、「家族の会」といっしょに複数のNPOグループ
がそれぞれの役割を担い協力し合っています。

〈事務局〉 〒641-0044 和歌山市今福2-1-16
オレンジコープ今福診療所内

世話人代表 林 千恵子

TEL 073-425-2775 FAX 073-492-5541

E-メール boke-21@wcsnet.or.jp

ホームページ <http://www.wcsnet.or.jp/~boke-21>

〈電話相談室〉

月曜日 TEL&FAX 073-423-5771

E-メール cfare641@itw.zaq.ne.jp

ピアカウンセリングの集い



精神保健福祉普及啓発事業

秋を迎えて、精神保健福祉センターでも多くの皆様のご参加を募っての行事が目白押しです。
読者の皆さんも是非、会場にお立ち寄りください。

小さな秋のこころのふれ愛展

県内の精神障害者関連団体が集まり、お互いの親睦と精神障害に関する理解と啓発を目的に行います

日 時: 10月31日(日)10時から15時 / 11月1日(月)10時から12時

場 所: 和歌山県精神保健福祉センター

内 容: 作品展示・販売(絵画・書道・ポストカード・石けん等)

作業所体験(作業所ってどんなところ?)・似顔絵

作品作りの体験・箱庭療法体験

相談コーナー(家族相談・ピアカウンセリング・就業相談等)

第1回精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会

好評だった昨年の近畿大会に続き、今年は県下14チームが参加します。
第1回目の優勝カップはどのチームが獲得するか?? 熱いご声援をお願いします。

日 時: 11月4日(木)12時から17時

場 所: 和歌山ビッグホエール

主 催: 和歌山県精神保健福祉協会 共 催: 和歌山県作業療法士会

当日、大会のお手伝いをしてくださるボランティア募集中

(詳しくは精神保健福祉センターにお問い合わせください)

わかやまこころのフェスティバル2004

(わかやま人權フェスティバルと共催)

第7回目を迎えた“ここフェス”。今年もたくさんのブースが趣向を凝らして出店。
是非お誘い合わせて遊びに来て下さい。いろんな体験ができますよ♪♪♪

日 時: 12月4日(土)10時~16時 / 12月5日(日)10時~17時

場 所: 和歌山ビッグホエール

【5日 14:00 ~】講演会 『メイクとこころの癒し』 講師: 長田 文子さん(フェイスプランナー)

マスコミでおなじみのかづきれいこ氏が主宰するREIKO KAZKI所属。

メイクとこころの関係についての楽しいトーク。当日、フロアの希望者をモデルに

KAZKIメイクの実演もあります。KAZKIメイクを一度体験してみませんか?

【両日開催】精神保健福祉関連団体の出店ブース(予定)

共同作業所エルシティオ : エスニックカフェ(コーヒー販売)

(社福)一麦会 : パン・自主製品の販売

精神障害者家族会連合会 : パネル展示・書籍販売・相談コーナー

精神障害者団体連合会 : 似顔絵・ピアカウンセリング

精神医学ソーシャルワーカー協会 : リラクゼーションコーナー(ハーブティ試飲・ストレスチェック)

精神保健福祉協会 : クイックマッサージ(協力: 和歌山盲学校)

精神科病院協会 : 参加体験コーナー・作品展示

AA関西セントラルオフィス : 展示販売、オープンスピーカースミューティング

つばさの会 : パネル展示・相談コーナー・物品販売

つばさの会を支える会 : 餅つき大会・餅の販売

精神神経科診療所協会・精神保健福祉センター : パーチャルハルシネーション体験 等

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

◇ 第9回登校拒否・不登校問題全国のつどいin和歌山

「学びあおう 語りあおう 子どもたちをまんやかに」をテーマに8月28日・29日白浜にて開催されました。全国より735名の当事者や保護者、関係者が集まりました。名古屋大学 植田健男教授の「人間的な自立」に向けての基調講演と各種交流会が行われました。

(主催：第9回「全国のつどい」実行委員会)

◇ 和歌山市精神障害者家族会

「つばさの会」結成20周年を迎える

結成20周年を迎え、記念式典が9月11日(土)和歌山大学生涯学習教育研究センターで開かれました。一般市民を対象としたミニライブと講演会「心のストレスとのつきあい方」講師：篠崎和弘教授(和医大)が行われ、200名の市民や関係者で賑わいました。

(主催：和歌山市精神障害者家族会「つばさの会」
(財)和歌山県人権啓発センター)

◇ AAスピーカーミーティング

田辺・御坊ミーティングのスタート丸1年を記念して、9月4日(土)田辺市にて和歌山で初めてのオープンスピーカーズミーティングが開催されました。当事者、関係者ら100人余りが参加し、当事者らが交代で自らの体験を語りました。自分自身をよく見つめ、人生の挫折から立ち上がり新しい生活を始められている様子が強く伝わる集会でした。

(主催：AA)

◇ 講演会「宮城県における就労ネットワークの

取り組みと地生活支援の実際」

8月24日(火)和歌山市保健所にて宮城県で職親として活動され就労ネットワークに取り組んでおられる有限会社大場製作所 代表取締役 大場俊孝氏が来県され、ご講演いただきました。「町の社長さん」といったパワフルな実践力に学ぶところの大きい講演会でした。

(主催：和歌山市精神保健福祉業務担当者連絡会議)

精神保健福祉協会より
只今平成16年度会員募集中

当会は、県民の精神保健福祉に関する知識の普及・啓発とこころの健康の保持増進を図り、精神障害者の医療・福祉の向上と円滑な社会復帰促進に努めることに賛同する会員の集まりです。どなたでも加入できます。

お申し込みは精神保健福祉センター

または最寄りの県立保健所へ。

個人会員 年額 1口 1,000円

団体会員 年額 1口 10,000円

◇ 世界アルツハイマーデー記念講演会

テーマ：「痴呆の人が安心できる住環境」

9月21日の世界アルツハイマーデーを記念して、9月23日プラザホープ(和歌山市)にて上記の講演会が開催されました。講師は和歌山大学足立啓教授と風の里の廣橋玲子相談員。

(主催：(社)呆け老人をかかえる家族の会和歌山県支部)

◇ 第3回近畿ブロック精神障害者スポーツ(ソフトバレーボール)大会に田村病院デイケアチーム出場

恒例となりましたソフトバレーボール。10月7日(木)尼崎市で行われます近畿大会に田村病院が出場します。練習を毎週欠かさず続け、大会での健闘が期待できます。

(主催：兵庫県)

♡ こころの健康講座

テーマ：「もし家族がうつ病になったら」

一般県民を対象とした講座を8月10日(火)岩出町総合保健福祉センターにて開催しました。講師の篠崎和弘教授(和医大)よりうつ病とその対応についてご講演いただきました。うつ病については最近、関心も高く定員90人いっぱいの参加がありました。

(主催：和歌山県精神保健センター)

♡ 精神障害者訪問介護員(ホームヘルパー)研修

紀南地域での上記研修会が東牟婁振興局にて9月10日(講義)、一日(「どんぐりの家」での施設研修)の延べ2日間に渡り開催しました。参加者は25名でした。受講生皆さんの今後地域でのご活躍に期待します。

(主催：和歌山県精神保健センター)



所長のひとりごと



阪神が弱かったので、秋を迎えてもプロ野球が面白くない。近鉄とオリックスの合併話が持ち上がり、選手会がそれに反対して75年間で初めてのストライキを遂行したのも、「楽天」と「ライブドア」が新チーム参入に名乗りをあげたのも、今年色々あった「プロ野球」の一つだ。さらにこの両者ともに、仙台をホームグラウンドにするとする。オーナーは30歳代の若い人である。

30歳代と言えば、海の向こう、メジャーリーグでイチローが、80年間破られなかったシスラーの年間最多安打を抜き、262安打のメジャー新記録をつかった。

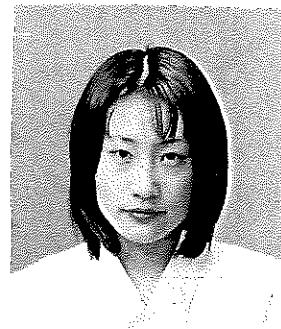
セリーグは、「俺流」落合監督が中日を優勝に導き、阪神の井川投手は中日の優勝後にノーヒットノーランの記録を樹立。優勝を阻止する位のノーヒットノーランであって欲しかったがこれでは何となく盛り上がりがない。パリーグはプレーオフで日本ハムと西武が面白い試合をしたし、ダイエーと西武にも期待できそうだ。

巨人中心のプロ野球はファンがついていけないし、長島・王がプロ野球の代表だった時代は終わったかもしれない。今後プロ野球の話題は、イチローの話題を中心として話される時代が来るのかも知れない。

プロ野球が変わろうとする節目の時に、愚生は後6ヶ月足らずで定年を迎えます。60年来のプロ野球ファンとして、川上・藤村から長島・王、そしてイチローと選んだその歴史を考えてみる時に来たのかも知れません。

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。

今回は、白浜町役場の保健師、講 初 景子こうらいさんです。



はーとふるネットワーク



— 白浜町に就職されて何年になりますか？

今年で3年目になります。

— 保健師として白浜町でどのようなお仕事をされていますか？

障害者（児）福祉を担当しています。精神保健福祉関係、支援費関係等の事務仕事や相談、訪問等です。

— この仕事をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

相談・訪問をおこなって行く中で、表情が乏しかった本人やその家族が、明るくなってきた時です。笑顔が見られた時は、とてもうれしくなり私の仕事への「エネルギー」となります。

— 仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

本人の意志実現をすることに対して、時として社会や周囲の理解が得られない場合があるときです。保健師としての自分の役割についても、考えさせられ悩みます。

— 「講初さん」とは大変珍しいお名前ですが、そちらではよく聞かれるお名前ですか？名前の由来があれば教えてください。

私の知る限りでは、親族だけです。名前の由来は、地名から付けられたと聞いています。

— 楽しい事、はまっている事、ストレス解消法は何ですか？

ギターです。今、職場の数人と練習をしています。まだまだ、他人に聞いてもらえる腕前では、ないのですが……。休みの日は、家で家族（特に愛犬）のひんしゅくをかいたながら「ポロン、ポロン」と弾いています。

— 今後の抱負を教えてください。

まだまだ仕事に対して未熟であるため、住民の方々や先輩方から学ぶことが多い毎日です。これからも、学ぶ姿勢を忘れず1つ1つの出会いを大切にしていきたいと思っています。

— 講初さんから、次の方の紹介をお願いします。

看護学生からの友人である貴志川町の保健師久保登希子さんを紹介します。

彼女には、学生の頃から勉強やプライベートで大変お世話になっています。今でも、いろいろと電話で相談にのってもらったり、遊んだりと変わらずお付き合いしてもらっています。2人で喫茶店や食事に行くと、2人ともおしゃべりに夢中になってしまい、2時間はゆうに費やしてしまうほど気がしれた仲です。

センターの研修等のお知らせ

○ 精神科看護職員等人権セミナー

日 時：10月7日(木)・8日(金)・14日(木)・17日(日)

場 所：ビッグ愛・木島病院(実習)

* 17日(日)は講演とシンポジウム(参加者受付中)

(対象：精神科病院に勤務する医師、看護師、PSW及び行政関係者)

講 演「精神科病院での人権擁護について」
シンポジウム「これからの精神科病院に求められること」

○ 精神障害者訪問介護員フォローアップ研修

日 時：10月22日(水) 9:30~16:30

場 所：ビッグ愛

講 師：花園大学社会福祉学部講師 三田優子氏

○ 精神保健福祉専門研修 (SST)

日 時：12月16日(木)・17日(金)

場 所：ビッグ愛

テ ー マ：精神科ソーシャルスキルトレーニング

講 師：神戸総合医療専門学校 岸本徹彦氏

○ 精神保健福祉専門研修(思春期)

日 時：平成17年1月22日(土)

場 所：田辺市

テ ー マ：高機能自閉症の正しい理解

講 師：北海道大学 田中康雄氏



高齢化社会における痴呆ケア 国際アルツハイマー病協会 第20回国際会議・京都・2004	10/15(金)~10/17(日)	国立京都国際会館 (問い合わせ 075-823-6544)
平成16年度 和歌山県精神保健福祉講演会 どうなるの、どうするの「これからの精神障害者」	10/16(土) 13:30 ~ 16:00	和歌山ビッグ愛12F (問い合わせ 073-474-2466)
第52回精神保健福祉全国大会 「つなごうよ! ところどころの架け橋を」	10/21(木) 10:00 ~ 16:00	長崎ブリックホール (問い合わせ 095-825-2479)
第18回世界社会精神医学会 (WASP) /第24回日本社会精神医学会 (JSSP)	10/24(日)~10/27(水)	神戸国際会議場 (問い合わせ 03-5216-5551)
日本精神障害者リハビリテーション学会 第12回前橋学会 「こころのバリアフリーをとともに築こう-脳とこころ-」	11/4(木)~11/6(土)	群馬県民会館(4日~6日) 前橋商工会議所会館(5日)
日本精神衛生学会創立20周年記念大会 「日本精神衛生学会20年のあゆみと幸せの探求」	11/20(土)~11/21(日)	中央大学駿河台記念館 (問い合わせ 03-3982-2676)

編集後記

今夏は8回の台風上陸、9月初旬の大きな地震と自然災害が頻発しました。被災された方々にはお見舞い申し上げます。和歌山でも幸い被害は大きくはなかったのですが、立て続けの大きな地震にびくびくし、災害に対する準備を改めて思い知らされました。